

厳しい状況だからこそ、賃上げを実現しよう! 「2020春季生活闘争 中間まとめ」の決意

地場中小は最終盤の 取り組みへ!

全石狩地域闘争委員会は「2020春季生活闘争 中間まとめ」および今後の取り組みと課題について確認しました。本春闘は「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みを強化する観点から、月例賃金にこだわり、賃上げの流れを継続・定着させる。加えて「格差是正」の取り組みの実効性を高めるためにも、「賃金水準の追求」に取り組みをこまめに行いました。結果として、多くの組合で前進回答を引き出すことができ、現下の厳しい状況の中、ぎりぎりまで協議・交渉を迫り上げた結果と受け止めます。一方で、本年は連合結成以来、経験したことのない交渉環境下の中で行われたことや、4月以降本格化した中小組合の交渉は、政府による「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」により、交渉環境を維持することが難しくなってきたことから影響しているものと考えるところです。運動面において

も、石狩地域における春闘期の行動展開はその多くが自粛となり、地域雇用対策の取り組みは事務局対応にて各要請行動実施をしました。石狩地域の2020春季生活闘争は最終盤の取り組みに入ります。交渉を継続している未解決組合への支援体制の構築、地域最低賃金改善に向けた取り組み等、残る課題の積極的推進に努め、石狩地域すべての働く者の労働条件改善に取り組みます。

道内最低賃金議論を開始 厳しい生活実態を考慮し 引き上げ実現を!

今年度の北海道最低賃金の改定に向けた審議が本格的にスタートしました。中央最賃審議会は新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい経済情勢を考慮し、地域別最低賃金の目安について「現行水準の維持が適当」とす

る11年ぶりの据え置き答申を決定しました。経営側は「危機的な経営の中小企業が今の雇用を維持できない」と主張。労働側は「コロナ禍においても、介護・福祉・医療・保育関係や日常生活を支える『エッセンシャルワーカー』の厳しい生活実態を考慮し、引き上げるべきだ」と強調しています。現在、北海道の最低賃金時間額861円は、法定労働時間(週40時間)フルに働いても、月額15万円程度、年額でもワーキングプアの目安とされる年収200万円にも届かない状態です。また、道内の非正規労働者は全体の4割を占めており、最低賃金の果たす役割はこれ以上以上に大きくなっています。

中央最賃審議会の公益側見解に「地方の審議会で、地域間格差の縮小に勘案した審議を希望することあることから、北海道での最賃議論に期待を寄せるところです。引き続き連合は、最低賃金の大幅引き上げ、政府による中小企業への支援策拡充を求めます。

地域と二体の運動推進 各地区労働なんでも相談 を実施



全石狩地域闘争委員会は、5月23日石狩地区、6月13日千歳地区、6月20日江別地区、7月11日恵庭地区において、「労働なんでも相談」を実施しました。本年上半期の労働相談には、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、パート・派遣労働者を中心に雇用関係の相談(解雇・退職強要・契約打切)が増えています。連合が地域と一体の運動を推進するためにも、あらゆる機会に「連合の存在」をアピールし、地域運動の大きな柱である「地域との接点である労働相談業務を強化」します。

地域へ呼びかけ 連合運動

春闘パンフ札幌市内 10区に配布行動

連合石狩地協・札幌地区連合が、春闘期に地域の労働者へ呼びかける「春闘パンフ」は、さつとうの配布行動は、地協加盟産別・単組へ参加要請し実施してきました。この配布行動は15年目となり、配布されたパンフをきっかけに相談・組合加入や結成が増えていきます。昨年で札幌市内10区を一巡したことから、今年から「区連合統一行動」とし、各区連合で配布行動の取り組みを実施しました。実施にあたり当初は例年同様、5月に統一行動日を設定しましたが、「コロナ禍」における情勢判断から、7月中旬をめどに集中行動月間とし、配布行動を完了しました。ご協力いただきました各産別・単組の組合員の皆さまに感謝申し上げます。

高校新卒者の就職先確保を 札幌市高教が要請

札幌地区連合加盟組合である札幌市立高等学校教職員組合(札幌市高教高瀬敏樹執行委員長)は6月29日、新型コロナウイルス感染症拡大による業績悪化の影響から、来春卒業生を迎える生徒や保護者から就職に関する不安の声が多く寄せられている実態を受け、高校生の就職先確保などに

ついて加盟組合を通じて各企業などへの呼びかけをお願いすべく、札幌地区連合に協力依頼が行われました。これを受け連合石狩地協・札幌地区連合は、野宮連合会長と高瀬委員長との連名による「来春新規高校卒業生への就職先の確保について」の協力依頼文の発出を各加盟組合に対し行いました。連合北海道は7月20日に政策委員会を開催し、8月に要請予定の「2021年度政府予算及び道政に対する『要求と提言』(案)の審議を行い、連合石狩地協は、今回届けられた札幌市高教からの協力依頼について意見反映を進めた結果、要求項目に追記がされました。札幌地区連合として、今後、札幌市への政策要求をはじめとした取り組みも進めていく方向です。



高瀬委員長(左)から依頼文書を手交

コロナ対策に 役立てて!

札幌市へ 100万円を寄付

札幌地区連合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立ててほしいと、6月に札幌市へ100万円の寄付を実施しました。7月17日、感謝状贈呈式が行われ、秋元市長より感謝の意が伝えられました。今後、医療体制の強化や医療従事者の方々の支援などに活用されることと見込んでいます。



感謝状を手交 野宮会長と秋元市長

連合北海道札幌地区連合会ホームページ
http://hokkaido.jtuc-rengo.jp/spk-chiku/
QRコードで速報をチェック!
HPがリニューアル!スマホ対応になりました。

平和な社会を後世につなげるために!
× 集团的自衛権、行使反対 ×
× 安保関連法、共謀罪の廃止を ×
連合北海道札幌地区連合会

札幌れんご
札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろつビル2階
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505
2020年 8月5日 420号
連合北海道札幌地区連合会